

## 審査基準

## 1 客観評価（業務実績等に対する評価）

区分	評価項目		配点	
		判定基準		
企画提案者の実績等	建設コンサルタントの登録部門		登録部門： ① 廃棄物・建設環境・下水道 ② 廃棄物・建設環境 ③ 廃棄物・下水道 ④ 廃棄物	
	業務実績	A. 基本計画策定業務（整備事業基本方針策定など）の元請けとしての完了実績	以下の期間で契約し、公示日までに同種又は類似業務を完了した直近の実績 ① 平成 29 年度以降 ② 平成 24 年度以降 ③ 平成 19 年度以降	①=2.5 ②=2 ③=1
		B. 事業手法（PFI・DBO等）の方針検討に係る業務の元請けとしての完了実績	以下の期間で契約し、公示日までに同種又は類似業務を完了した直近の実績 ① 平成 29 年度以降 ② 平成 24 年度以降 ③ 平成 19 年度以降 ④ 実績なし	①=2.5 ②=2 ③=1 ④=0
		C. 整備事業者選定業務の元請けとしての完了実績	以下の期間で契約し、公示日までに同種又は類似業務を完了した直近の実績 ① 平成 29 年度以降 ② 平成 24 年度以降 ③ 平成 19 年度以降	①=2.5 ②=2 ③=1
		D. 循環型社会形成推進地域計画策定支援業務（生活排水処理分野を含むもの）の元請けとしての完了実績	以下の期間で契約し、公示日までに同種又は類似業務を完了した直近の実績 ① 平成 29 年度以降 ② 平成 24 年度以降 ③ 平成 19 年度以降	①=2.5 ②=2 ③=1
		E. 生活環境影響調査の元請けとしての完了実績	以下の期間で契約し、公示日までに同種又は類似業務を完了した直近の実績 ① 平成 29 年度以降 ② 平成 24 年度以降 ③ 平成 19 年度以降	①=2 ②=1.5 ③=1
	企画提案者評価点 合計			16

※ 項目 A から C の実績は、し尿処理施設（汚泥再生処理センター）の整備に係るものに限る。

区分	評価項目		配点	
		判定基準		
技術者評価	管理技術者の能力・実績	管理技術者の資格、専門分野の内容	A) 衛生工学部門：廃棄物管理 B) 環境部門：環境影響評価 C) RCCM（廃棄物） ① (A) の資格及び (B) 又は (C) の資格 ② (A) の資格のみ	①=2 ②=1
		A. 基本計画策定業務（整備事業基本方針策定など）の完了実績	① 汚泥再生処理センター（し尿処理施設を含む）整備事業の実績を有する。 ② 廃棄物関連施設整備事業の実績を有する。 ③ 廃棄物関連施設整備事業の完了実績なし	①=2 ②=1 ③=0
		B. 施設の事業手法（PFI・DBO等）の方針検討に係る業務の完了実績	① 汚泥再生処理センター（し尿処理施設を含む）整備事業の実績を有する。 ② 廃棄物関連施設整備事業の実績を有する。 ③ 廃棄物関連施設整備事業の完了実績なし	①=2 ②=1 ③=0
		C. 整備事業者選定業務の完了実績	① 汚泥再生処理センター（し尿処理施設を含む）整備事業の実績を有する。 ② 廃棄物関連施設整備事業の実績を有する。 ③ 廃棄物関連施設整備事業の完了実績なし	①=2 ②=1 ③=0
		D. 循環型社会形成推進地域計画策定支援業務の完了実績	① 生活排水処理分野を含む地域計画策定支援業務の実績を有する。 ② 地域計画策定支援業務の実績を有する。 ③ 完了実績なし	①=2 ②=1 ③=0
		E. 生活環境影響調査の完了実績	① 汚泥再生処理センター（し尿処理施設を含む）整備事業における生活環境影響調査業務の実績を有する。 ② 生活環境影響調査業務の実績を有する。 ③ 完了実績なし	①=2 ②=1 ③=0
		管理技術者評価点 合計		

※ 業務の完了実績は、管理技術者として従事していたものに限る。

区分	評価項目		配点	
		判定基準		
技術者評価	照査技術者の能力・実績	照査技術者の資格、専門分野の内容	A) 衛生工学部門：廃棄物管理 B) 環境部門：環境影響評価 C) RCCM（廃棄物） ① (A) の資格及び (B) 又は (C) の資格 ② (A) の資格のみ	①=3 ②=2
		A. 基本計画策定業務（整備事業基本方針策定など）の完了実績	① 汚泥再生処理センター（し尿処理施設を含む）整備事業の実績を有する。 ② 廃棄物関連施設整備事業の実績を有する。 ③ 廃棄物関連施設整備事業の実績なし	①=1 ②=0.5 ③=0
		B. 施設の事業手法（PFI・DBO等）の方針検討に係る業務の完了実績	① 汚泥再生処理センター（し尿処理施設を含む）整備事業の実績を有する。 ② 廃棄物関連施設整備事業の実績を有する。 ③ 廃棄物関連施設整備事業の実績なし	①=1 ②=0.5 ③=0
		C. 整備事業者選定業務の完了実績	① 汚泥再生処理センター（し尿処理施設を含む）整備事業の実績を有する。 ② 廃棄物関連施設整備事業の実績を有する。 ③ 廃棄物関連施設整備事業の実績なし	①=1 ②=0.5 ③=0
		D. 循環型社会形成推進地域計画策定支援業務の完了実績	① 生活排水処理分野を含む地域計画策定支援業務の実績を有する。 ② 実績を有する。 ③ 実績なし	①=1 ②=0.5 ③=0
		E. 生活環境影響調査の完了実績	① 汚泥再生処理センター（し尿処理施設を含む）整備事業における生活環境影響調査業務の実績を有する。 ② 生活環境影響調査業務の実績を有する。 ③ 実績なし	①=1 ②=0.5 ③=0
		照査技術者評価点 合計		

※ 業務の完了実績は、管理技術者として従事していたものに限る。

区分	評価項目			配点
			判定基準	
技術者評価	業務従事技術者（管理技術者・照査技術以外）の能力・実績	技術者（1）	業務実績 同種又は類似業務に技術者として従事した業務実績 ①直近 10 年以内における業務実績あり ②業務実績なし	①=1 ②=0
		技術者（2）	業務実績 同種又は類似業務に技術者として従事した業務実績 ①直近 10 年以内における業務実績あり ②業務実績なし	①=1 ②=0
		技術者（3）	業務実績 同種又は類似業務に技術者として従事した業務実績 ①直近 10 年以内における業務実績あり ②業務実績なし	①=1 ②=0
		技術者（4）	業務実績 同種又は類似業務に技術者として従事した業務実績 ①直近 10 年以内における業務実績あり ②業務実績なし	①=1 ②=0
	業務従事技術者（管理技術者・照査技術以外）評価点 合計			4

※「同種又は類似業務」の業務とは、以下のものをいう。

- A. 廃棄物関連施設整備事業の基本計画策定業務（整備事業基本方針策定など）
- B. 廃棄物関連施設整備の事業手法（PFI・DBO 等）の方針検討に係る業務
- C. 廃棄物関連施設整備事業の整備事業者選定業務
- D. 生活排水処理分野を含む循環型社会形成推進地域計画策定支援業務
- E. 生活環境影響調査
- F. 廃棄物関連施設の設計業務

業務実績は、「同種又は類似業務」の業務に技術者として従事していたことが確認できる資料の写しを提示できるものに限る。なお、「確認できる資料」とは、その業務において技術者としての立場が確認できる業務計画書等の資料を示す。

## 2 価格に対する評価

区分	配点方法	基準点
提案見積額	$\text{配点} = \left[ 1 - \frac{\text{提案見積額}}{\text{提案上限額}} \right] \times \text{基準点}$ 配点は、小数点第1位までとする。(小数点第2位を切り上げる。)	10

※ 提案見積額が提案上限額に対して低額（概ね5割以下）の場合、プレゼンテーションでのヒアリング対象とし、根拠説明を求められる場合があります。

## 3 企画提案に対する評価

評価事項	評価項目	基準点
業務の実施方針及び業務スケジュール	業務目的や業務内容を適切に理解し、本市要求に応えられるものとなっているか。	10
業務の実施体制	業務の確実な履行が期待できる体制か。	10
業務の実施方法及び業務実施上の課題と対処法	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕様書で示している業務内容ごとに的確に整理され、説明されているか。</li> <li>作業内容に具体性と現実性があり、十分な業務成果が期待できる内容となっているか。</li> <li>課題や留意事項を抽出し、それについての適切な対処方法があるか。</li> </ul>	20
ヒアリング・質疑応答	説明能力や質問に対する応答が明確でかつ迅速であるか。	10
企画提案評価点 合計		50

※評価項目毎にランク付けし、以下の計算式により評価点を配点する。

評価点 = 基準点 × 評価係数

ランク	評価	評価係数
A	極めて妥当	1.0
B	妥当	0.8
C	標準的なレベル	0.6
D	やや不十分	0.2

#### 4 各審査段階における対象評価項目

審査・評価項目		配点		一次審査	二次審査	
					プレゼン	総合評価
参加資格審査		合・否		✓		
客観評価	企画提案者評価	16	40	✓		✓
	技術者評価	24		✓		✓
価格に対する評価		10			✓*	✓
企画提案に対する評価		50			✓	✓
総合評価点		100				

※「価格に対する評価」の評価対象である提案見積額は、プレゼンテーションでのヒアリング対象となる場合があります。